

# 県内企業景気動向調査

結果の概要

### ◆ 調査の目的 ◆

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

### ◆ 調査の方法 ◆

オンライン・アンケート(760社)、並びにヒアリング(22社)。

### ◆ オンライン・アンケートの集計方法 ◆

すべての質問項目についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

$$\text{「自社の業況DI値」} = (\text{「良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「悪い」と回答した企業の割合})$$

### ◆ 調査時点 ◆

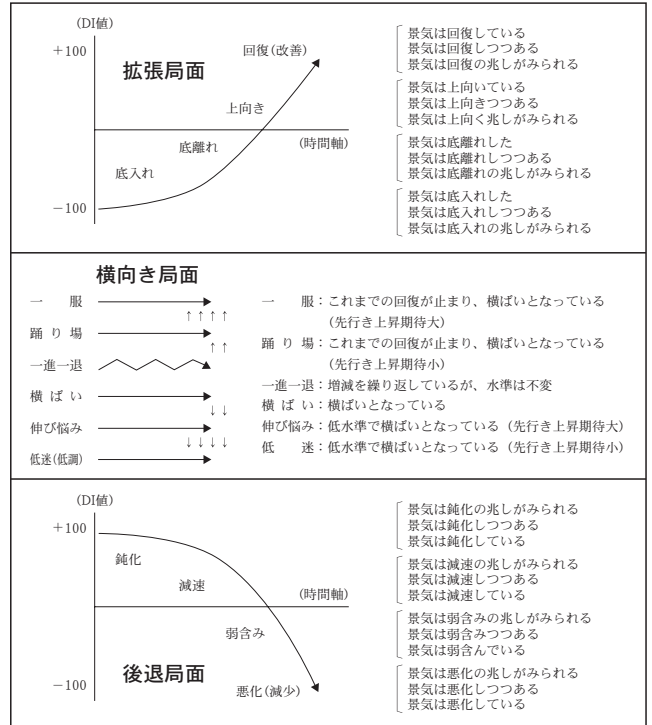
オンライン調査：平成18年2月1日(水)～13日(月)

ヒアリング調査：平成18年2月23日(木)～3月14日(火)

### ◆ 地域区分 ◆

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

### ◆ 判断用語の凡例 ◆



## 景気天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

### 天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI ≥ 30	30 > DI ≥ 10	10 > DI ≥ 10	▲10 > DI ≥ ▲30	▲30 > DI

### (前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

### (今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

## 全業種（回答企業383社、回答率50.4%）

**現状判断**：緩やかながらも上向いている。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が8.6となっており、前回より4.3ポイント改善するなど、緩やかながらも上向いている。

業種別では、引き続き製造業が好調を維持しているほか、個人消費の回復感が少しずつ拡がり始めたことなどから、卸・小売業やサービス業など内需関連業種でも業況は上向きつつある。

**来期見通し**：回復基調を維持する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が0.5となっており、やや一服感が見られるものの、緩やかな回復基調を維持する見込み。

業種別では、季節要因による一服感も見られるが、製造業、卸・小売業、サービス業では特に不安視すべき材料は見当たらず、概ね回復基調を維持する見込み。

**地域別の動向**：4地域でDI値がプラス。

地域別では、庄内飽海で業況DI値がプラスに転じたものの、最上で一転マイナスとなったことから、前回同様、6地域中4地域でDI値がプラスとなった。

先行きの見通しは、村山南部、置賜、庄内田川で引き続きプラス予想となったほか、今回DI値がマイナスだった村山北部でも回復感が先行した。

(前期比) (調査時点)	自社業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H17.11	4.3	▲ 2.3	▲14.7	9.3	▲ 8.6
H18.02	8.6	1.0	▲10.2	5.7	▲ 9.4
H18.05 (見通し)	0.5	▲ 1.3	▲10.7	4.4	▲15.2

## 建設業（回答企業99社、回答率54.7%）

**現状判断**：低調に推移している。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が▲21.2となっており、前回より11.1ポイント悪化するなど、低調に推移している。

今年度分の公共工事の発注が一段落したこともあり、工事の受注状況はさほど目立った改善を見せていない。手持工事高DI値は▲16.1となり、前回より8.1ポイント悪化した。

**来期見通し**：低調に推移する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が▲33.3となっており、引き続き低調に推移する見込み。

例年と比べても今期の公共工事の受注状況は振るわなかったため、来期への繰り越し工事も減少すると見込まれている。手持工事高DI値は▲38.4となっており、悪化予想であった。また、工事そのものが少なくなることから、作業員を中心に余剰感も増す見込み。

**地域別の動向**：庄内飽海でDI値がプラスへ。

地域別では、庄内飽海で唯一業況DI値がプラスに転じるなど、一部に好調さも見られたが、その他の地域では総じて低調であった。

先行きの見通しは、今回DI値がプラスに転じた庄内飽海でも大幅な悪化予想となるなど、各地で業況の悪化が懸念される。

(前期比) (調査時点)	自社業況	業界業況	完成工事高	営業利益	手持工事高	人員・人手	資金繰り
H17.11	▲10.1	▲46.4	▲17.1	▲34.3	▲ 8.0	18.2	▲26.2
H18.02	▲21.2	▲51.5	▲29.3	▲48.5	▲16.1	▲ 4.0	▲20.2
H18.05 (見通し)	▲33.3	▲56.6	▲31.3	▲45.4	▲38.4	▲19.2	▲41.5

# ← 景気動向を図解!! →

## 製造業（回答企業110社、回答率54.2%）

**現状判断**：回復している。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が29.1となっており、前回より14.1ポイント改善するなど、回復している。

引き続き販売が好調で、売上高DI値も22.8となるなど、前回より14.1ポイント改善し、調査開始以来の最高水準となった。

**来期見通し**：やや一服感が出る見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が16.3となっており、引き続き好調を維持するものの、やや一服感も出る見込み。

輸送機械関連業種は好調を維持する見込みだが、食品加工など季節性の強い業種を中心に今期よりは回復のピッチが鈍ることが予想される。売上高DI値は今期より7.4ポイント悪化予想の15.4であった。

**地域別の動向**：全地域的に好調さが目立つ。

地域別では、前回足踏み感が見られた村山北部でも大幅にDI値が改善するなど、全地域的に好調さが目立った。

来期の見通しは、庄内飽海でやや慎重な見方が広がったほか、村山北部や庄内田川でも一服感が出るなど、回復のピッチは鈍る見込み。ただ、DI値は引き続き全地域でプラス予想であった。

(前期比) (調査時点)	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
H17.11	15.0	▲ 2.3	8.7	▲ 0.8	▲44.9	▲10.2	7.1	3.1
H18.02	29.1	12.8	22.8	7.3	▲47.3	▲ 8.2	8.2	▲ 0.9
H18.05 (見通し)	16.3	4.5	15.4	5.5	▲39.1	▲17.2	11.8	▲ 2.8

## 卸・小売業（回答企業91社、回答率49.2%）

**現状判断**：上向きつつある。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が9.9となっており、前回より3.1ポイント改善するなど、上向きつつある。

前回と同様、製造業の好調さを受けて機械器具卸や産業用電気機械卸などは好調を維持している。また、ヒアリングでは個人消費の持ち直しを指摘する声が多く寄せられるなど、特に小売業の回復感が目立った。

**来期見通し**：回復する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が12.1となっており、引き続き回復する見込み。

好調な製造業に牽引される形で設備投資に付随する機械・器具卸は好調を維持する見込みであるほか、個人消費が持ち直しつつあることから、食品卸など一般消費財関連業種も順調に推移する見込み。

**地域別の動向**：内陸の好調が目立つ。

地域別では、村山南部と最上、置賜でDI値はプラスを維持しており、好調だった。一方、庄内田川ではDI値がマイナスに転じるなど、庄内地方の低調さが目立った。

来期の見通しは、庄内田川・飽海でDI値がプラス予想となるなど明るい見通しとなったが、内陸では慎重な見方が多かった。

(前期比) (調査時点)	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
H17.11	6.8	▲17.0	▲ 1.1	▲17.0	▲38.7	▲ 2.2	1.1	▲15.9
H18.02	9.9	▲ 4.4	14.3	6.6	▲42.8	▲ 4.4	7.7	▲14.3
H18.05 (見通し)	12.1	1.1	12.1	▲ 1.1	▲40.7	▲25.3	11.0	▲11.0

# 各業種別分析

現在とこれからを徹底調査!!

## サービス業（回答企業83社、回答率43.5%）

## 特別調査：4月入社の新卒者採用状況について

### 現状判断：上向く兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が15.6となっており、前回より13.1ポイント改善するなど、上向く兆しが見られる。

対個人サービスの業況DI値は前回より19.0ポイント改善し、6.5となるなど、回復の兆しが見られた。また、対事業所サービスの業況DI値は前回より3.2ポイント改善し、21.2となるなど、好調を維持している。

### 来期見通し：緩やかに回復する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が7.2となるなどやや一服感も見られるが、今後は緩やかに回復する見込み。

現状、売上高や営業利益の各DI値はまだまだ水面下を脱する状況にはないが、引き続き人員・人手の不足感が見られるなど、少しずつ浮揚感も漂い始めている。

### 地域別の動向：村山南部、庄内田川で好調を維持。

地域別では、村山南部と庄内田川でDI値が引き続きプラスとなるなど好調であったほか、置賜でもプラスに転じた。

来期の見通しは、最上と置賜、庄内田川でDI値がプラスとなる見込みであるが、それ以外の地域ではマイナス予想となっており、やや温度差も見られる。

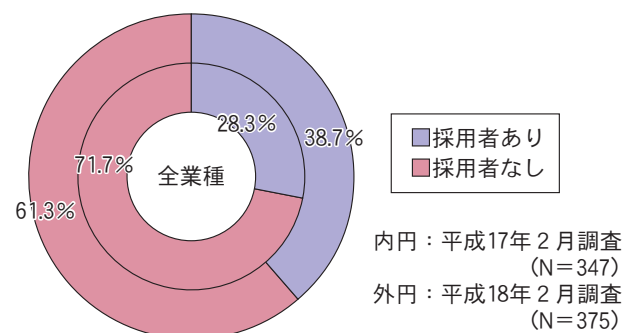
(前期比) (調査時点)	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H17.11	2.5	▲23.2	▲ 2.5	▲ 9.7	11.0	2.4
H18.02	15.6	▲16.9	▲ 6.0	▲ 6.0	12.1	▲ 2.4
H18.05 (見通し)	7.2	▲25.3	▲ 2.4	▲ 1.2	15.7	▲ 4.8

### 雇用環境は改善している

平成18年4月入社予定の新規学卒者採用の有無について聞いたところ、少なくとも1名以上の採用者がいると回答した企業は全業種でみて38.7%となっており、前回調査時点（平成17年2月）と比べて10.4ポイント増えるなど、雇用環境は改善している。

中でも、特に採用状況の改善が著しかったのがサービス業であり、採用者がいると回答した企業の割合は前回調査時点より18.9ポイント改善して40.2%であった。このほか、製造業では採用者がいると回答した企業の割合が約5割に達するなど採用活動が活発に行われた業種もあった。

新卒採用者の有無



(注) このレポートは、弊社の会員向けサービスの一環として実施している「県内企業景気動向調査」(確報版)の概要です。詳しい内容をご覧になりたい方は、会員専用ホームページ (<http://www.sfsi.co.jp/>) へアクセスしてください。

なお、レポートの内容に関するご質問は下記までお問い合わせください。

#### 【お問い合わせ先】

研究開発グループ 熊本・齋藤(信)

TEL：023(626)9017

e-mail：fsn@sfsi.co.jp